

体験学習

🍷 はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

①こどもくらぶスペシャル

気軽に楽しめる体験やパズル、簡単な工作ができます。大人の方もどうぞ。

体験／昔の遊び、智恵の板、骨寺村絵図パズル

工作／不思議なコップ etc.

日時／5月4日④、5日⑤

10:00～15:00随時 申込不要

材料がなくなり次第終了 人数制限する場合があります



②和風ブックケースをつくらう

日時／11月4日(日) 13:00～16:00

持ち物／ケースを作りたい本

(厚さ1cm以上、A4判より小さいもの)

汚れてもよい服装でお越しください。

定員5組程度、保護者の方と一緒に参加してください。

参加料200円(材料費) 電話申込必要



🍷 博物館でアートを楽しむ

点描で小粋なコースターを作らましよう

博物館に親しんでいただくために、美術体験を楽しんでもらおうという催しです。いわい美術振興協会会員を講師に迎えます。

日時／5月18日④ 午前の部9:00～12:00、午後の部13:00～16:00

定員各回15名(小学4年生以上) 参加料100円

🍷 和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。

日程／12月1日⑤に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。

締め切り／1月20日⑥ 消印有効

表彰式／3月9日⑥ 13:30～15:00

応募者には3月末日までに解答集をお送りします。



一関八幡神社算額(復元)

🍷 このマークは小学生も参加可能な行事です。

※その他、行事に関する詳細はお問い合わせください。

常設展示

通史展示

■一関のあゆみ 過去から未来への展望

原始・古代から現代まで、地域の歴史の流れと特色を紹介します。中世荘園骨寺村に関する資料もブースを設けて展示しています。

テーマ展示

1 舞草刀と刀剣 日本刀の源流・舞草刀

日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。

2 玄沢と蘭学 蘭学者大槻玄沢の業績

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介いたします。

3 文彦と言海 近代的国語辞書の著者

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人物と業績について、映像を用いながら紹介します。

4 一関と和算 和算隆盛の地一関

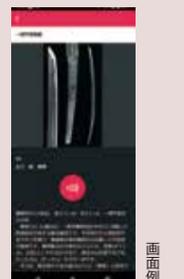
一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。

●長沼守敬

明治時代に活躍した一関出身の洋彫刻家、長沼守敬について紹介しています。

展示解説アプリ「ポケット学芸員」を導入しています

ダウンロードはこちらから▼



画面例

令和6年度 2024.4-2025.3

一関市博物館 年間行事案内

特別展

江戸の大名屋敷

一関藩・仙台藩

会期 9月14日(土)～11月24日(日)

入館無料日 9月14日(土) 展覧会初日、10月5日(土)、6日(日)、10日(水)、12日(土)、13日(日) 開館記念日
10月26日(土)、27日(日) 東北文化の日、11月3日(日祝) 文化の日



発掘された伊達家江戸屋敷の上水路(東京都埋蔵文化財センター「汐留遺跡II」より)

入館料

区分	料金	団体(20人以上)
中学生以下	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※65歳以上の一関市民の方(証明書等提示)と障がい者・介護者の方(障がい者手帳等提示)は免除されます。

共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

無料入館日

企画展・特別展の初日、国際博物館の日の5/18(土)、19(日)、開館記念日とその前後の④(日)、10/5(土)、6(日)、10(水)、12(土)、13(日)、東北文化の日の10/26(土)、27(日)、文化の日の11/3(日祝)は、無料で入館いただけます。

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

資料整理のための休館日 11/26(水)～12/13(金)、年末年始 12/29(日)～1/3(金)

開館時間 9:00～17:00(ただし、入館は16:30まで)

交通案内

■自動車

川口JCT⇄一関IC(約4時間20分 420km)

仙台宮城IC⇄一関IC(約1時間 88km)

盛岡IC⇄一関IC(約1時間 92km)

一関ICより約7分(5km)

※一ノ関駅から路線バスで約20分(厳美渓バス停下車徒歩7分)

■JR東北新幹線

東京⇄一ノ関(約1時間58分)

盛岡⇄一ノ関(約23分)

仙台⇄一ノ関(約21分)

一ノ関駅より車で約17分(9km)



この「年間行事案内」に対するお問い合わせ、参加申込みは、一関市博物館まで

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/> 一関市博物館 検索

一関市博物館 〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々215番地1 TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

予定が変更となる場合があります。最新の情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。

特別展

江戸の大名屋敷

— 一関藩・仙台藩 —

江戸時代、各大名は、参勤交代により江戸での生活を命じられ、そのために幕府から屋敷を拝領しました。上屋敷、中屋敷、下屋敷などと区別された大名屋敷は、各藩の江戸での活動の拠点となりました。また、その動向は国元の領民にも影響を及ぼしました。仙台藩の屋敷跡は汐留遺跡として注目され、大規模な発掘によりその構造が明らかになっています。また、近くの愛宕下にあった一関藩の上屋敷跡からも注目される遺物や遺構が発見されています。

発掘の成果や、歴史資料を通して、一関藩・仙台藩の江戸屋敷の構造や機能、暮らしや事件、藩主の大名としての側面を紹介します。

■会期
9月14日④～11月24日⑥
毎週月曜日休館(但し、祝日は開館し翌火曜日が休館)

■入館無料日
9月14日④ 展覧会初日
10月 5日④、6日⑥、10日⑥、12④、13日⑥ 開館記念日、
10月26日④、27日⑥ 東北文化の日
11月 3日⑥(祝) 文化の日

【関連行事】
■講演会① 大名・武士の江戸暮らし
日時/10月6日⑥ 13:30～15:00
講師/大石 学氏(東京学芸大学名誉教授・時代考証学会会長)
定員100名 参加無料 電話申込必要

■講演会② 発掘調査成果から見た江戸の大名屋敷
日時/10月20日⑥ 13:30～15:00
講師/内野 正氏(東京都埋蔵文化財センター)
定員100名 参加無料 電話申込必要

■一関藩江戸屋敷講座
① 忠臣蔵と一関 講師/大島晃一氏(岩手県南史談会幹事長)
② 一関藩邸の火災と復興 講師/当館学芸員
日時/11月17日⑥ 13:00～15:30
定員100名 参加無料 電話申込必要

■展示解説会
日時/
9月22日⑥ 15:10～16:00
10月 6日⑥ 15:10～16:00
10月20日⑥ 15:10～16:00
入館料必要 申込不要



江戸図 現在の新橋部分



家紋瓦 一関藩田村家上屋敷跡出土(港区郷土歴史館所蔵)



仙台藩伊達家汐留上屋敷表門雛型(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻所蔵)

企画展

菅原清蔵の民藝コレクションに 見る植物意匠

■会期 4月27日④ — 6月9日⑥
入館無料日 4月27日④、5月18日④、5月19日⑥

当館が所蔵する菅原清蔵の民藝コレクションから、植物がデザインされた品々を展覧します。「民藝」の観点で収集された秀衡椀、馬衣、菓子型、花巻人形、灯具など、かつては暮らしの中に取り入れられてきた美しさを持つ品々の、のびやかな造形を楽しんでください。

【関連行事】
■演奏会
●風薫る音楽会
～野に咲く花たちの声が聞こえる～
日時/5月19日⑥ 14:00～15:15
演奏/葉(ハ)歩
バイオリン 佐藤葉子氏
電子ピアノ 佐藤美歩氏
定員100名 参加無料 電話申込必要

■「落雁の型」にまつわる話
日時/5月19日⑥ 13:30～13:50
講師/当館職員
定員100名 参加無料 申込不要

■展示解説会
日時/5月11日④ 13:30～14:10
5月25日④ 13:30～14:10
6月 8日④ 13:30～14:10
入館料必要 申込不要



秀衡椀



火事頭巾

祈りの中の動物たち

■会期 7月6日④ — 8月18日⑥
入館無料日 7月6日④

私たちの暮らしの中で動物は、農業や養蚕といった生業に深く関わっており、時には絵馬などに描かれ、信仰の対象となることもありました。絵馬には、大切な労働力であった牛馬をはじめ、猫や各種動物が描かれることがあり、祈願者の動物に対する愛情や、生活の発展や幸福を祈念する思いが感じられます。本展では絵馬などを中心に、身近な動物と人々との関わりや想いについて紹介します。

【関連行事】
■講演会①
岩手南部の動物民俗
—猫・狼と人の関係—
日時/7月14日⑥ 13:30～15:00
講師/石黒伸一朗氏
(村田町歴史みらい館館長)
定員100名 参加無料 電話申込必要

■講演会②
仙台藩の狛師鉄砲 —管理と密猟—
日時/8月3日④ 13:30～15:00
講師/村上一馬氏(宮城県利府高等学校教諭)
定員100名 参加無料 電話申込必要

■展示解説会
日時/7月14日⑥ 15:10～15:50
7月27日④ 13:30～14:10
7月28日⑥ 15:10～15:50
8月 3日④ 15:10～15:50
8月10日④ 13:30～14:10
8月11日⑥(祝) 13:30～14:10
入館料必要 申込不要



版木(三峯山御札)



花巻人形(ねずみくわえ猫)

※講演会や体験学習などの申込みは、随時電話にて受け付けます。(TEL 0191-2913180)

暮らしのなかの道具

■会期 2025年1月25日④ — 5月18日⑥
入館無料日 1月25日④

一関周辺で使われたむかしの道具について紹介します。

【関連行事】
■展示解説会
日時/1月25日④ 13:30～14:10
2月23日⑥(祝) 15:10～15:50
3月 8日④ 13:30～14:10
入館料必要 申込不要



ダイヤル式電話

講座

館長講座

- 柳宗悦と東北・岩手 —民藝調査の旅—
日時/5月12日⑥ 13:30～15:00
 - 御鷹と御犬—生類憐みの令—
日時/7月28日⑥ 13:30～15:00
 - 江戸の警備と大名
日時/9月22日⑥(祝) 13:30～15:00
 - 雪国の春—柳田國男を読む—
日時/2月23日⑥(祝) 13:30～15:00
- 講師/菊池勇夫(当館館長) 定員各回50名
参加無料 電話申込必要



超初心者のための絵の見方

絵画鑑賞初心者のみなさんを募集します。学芸員と一緒に絵を見て楽しみませんか?
①日本画編 日時/5月12日⑥ 10:30～11:30
②洋画編 日時/5月26日⑥ 10:30～11:30
③版画編 日時/6月 9日⑥ 10:30～11:30
講師/当館学芸員
定員各回10名程度 参加無料 電話申込必要

重要文化財「大槻家関係資料」研究報告会 幕末の対外情勢と大槻家

学問の家大槻家に関する最新の研究成果を報告します。
日時/11月3日⑥(文化の日) 13:00～16:00
講演/幕末の海外情報と大槻磐溪、大槻家
講師/岩下哲典氏(東洋大学文学部教授)
報告①/「大槻玄沢とロシア」 菊池勇夫(当館館長)
報告②/「大槻磐溪の開国論」 当館職員
定員100名 参加無料 電話申込必要

和算講座 入門編

和算の基本や歴史についてわかりやすく解説します。

- 和算の歴史と一関
講師/当館学芸員
7月27日④ 13:30～15:00
- 江戸時代のお金の話
講師/菅原 通氏
(岩手県和算研究会会長)
8月10日④ 13:30～15:00



新編塵劫記

③ 和算書と算額の読み方 一和算用語を中心に—
講師/千葉秀昭氏(岩手県和算研究会)
8月24日④ 13:30～15:00
定員各回24名 参加無料 電話申込必要

和算講座 研究編

一関出身の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』を通して和算を学ぶ連続講座です。

講師/岩手県和算研究会
日時/①5月25日④ ②6月15日④ ③7月13日④
④8月10日④ ⑤9月21日④ ⑥11月16日④
10:30～12:00
定員24名
参加料300円(初回のみ)
電話申込必要



算法新書

古文書初心者講座

はじめて古文書を学ぶ人を対象に、江戸時代の古文書を教材としてくずし字や古文書の基礎知識を学ぶ連続講座です。

講師/菊池勇夫(当館館長)
日時/①7月28日⑥ ②8月25日⑥ ③9月22日⑥
10:30～12:00
定員24名(初心者に限ります)
参加料300円(初回のみ)
電話申込必要



古文書講座 —江戸の暮らしを読む—

当館所蔵の古文書を解読して、大名や武士、町人の江戸での生活を読み取る連続講座です。

講師/当館学芸員
日時/①10月 5日④
②10月19日④
③11月 2日④
13:30～15:00
定員24名
参加料300円(初回のみ)
電話申込必要

